



# ましきな

校是：向学 誠実 開拓  
与論町立那間小学校  
TEL 0997-97-2278  
FAX 0997-97-4950



## 「日本人として…」

那間小学校 校長 有留 雄一郎

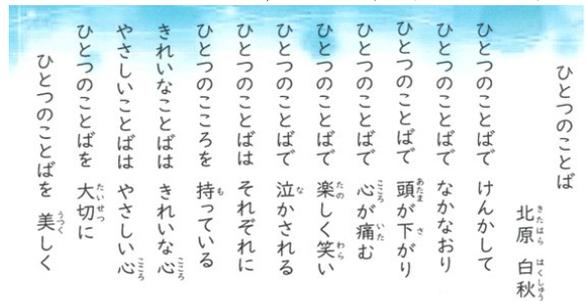
「ドーハの悲劇」宿泊学習の引率でその日は観戦できないと私はあきらめていたが、研修センターの計らいで他校の引率先生も交え、日本代表の試合を観戦していた。試合終了まじかに同点ゴールを決められ、念願であった日本サッカー初のワールドカップ本選出場が目前で消え去った。初任校が前園真聖選手の出身校でもあり、サッカーが大変盛んな校区でもあったため、私たちはもちろん子どもたちもとても残念がっていたのを記憶している。さて、あれから29年。日本代表チームは、目覚ましい進歩を遂げ、優勝候補のドイツ、イタリアを逆転の末勝利し、決勝トーナメントへ進んだ。まさしく「ドーハの歓喜」となった。残念ながらトーナメントでは1-1の引き分けで延長でも勝負がつかず、PK戦の末、敗退したが、日本中が彼らの素晴らしい試合で沸いた。那間小では朝登校した子どもたちがワールドカップの話をしながらか、最近新しくなったサッカーゴールへボールを楽しそうに蹴りこんでいる。

注目されているのは日本代表選手だけではない。日本人サポーターも世界の注目を浴びている。開幕戦のカタールとエクアドル戦の終了後、観戦していた多くの日本人サポーターがゴミ拾いをしており、これらがSNSで拡散された。鹿児島でもよくメディアに登場するじゃんけんマン（鹿児島市の尾曲智幸さん）もよくニュースで拝見する。「自国のゲームでもないのになぜ？」そんな思いは他国民は抱くだろうが、「Not For Camera!（カメラに映るため、メディアに取り上げられるためではない）」と答えたと新聞やメディアが報じている。各国からは「尊敬に値する」「他の国なのにすごい」等と評価され、これらの日本人の行動がドーハのセレモニーで表彰された際も「昔から日本のサポーターは応援で使っていた青いビニル袋にゴミを入れて持ち帰っていた。」と話している。まさに「立つ鳥跡を濁さず」で日本人サポーターの良き伝統となっている。

日本チームが使ったロッカールーム、ここもまたきれいに清掃され、素晴らしく片づけられている。これもよき伝統であり、これまで出場した開催国の言語で「ありがとう」のメッセージが添えられている。一連の報道から「日本人でよかった」「日本人の誇り」を感じる。小さなことで当たり前のことだが、那間小学校でも、次の人が気持ちよく使えるように「はきもの」を揃えている。

先月、下記にある北原白秋の「ひとつのことば」を全員の児童が暗唱に合格した。「ひとつのことばでけんかして…きれいな言葉はきれいな心…一つの言葉を美しく」で終わる。暗唱に来た子どもたちに尋ねてみた。「きれいな言葉は何ですか?」「大切にしている言葉は何ですか?」と。多くの子どもたちから出て来た言葉は「ありがとう」。そして「ごめんなさい」が大切だとも答えた。ある住職から「ありがとうとごめんなさいが言えれば、世の中何とかなりますよ」と聞いたことがある。

「ありがとう」「ごめんなさい」を美しく大切な言葉と素直に言える那間小の子どもたちを私は誇りに思う。12月10日は世界人権デー。県や本校でも12月4日～10日までを人権週間とし、10日には人権集会があり、仲間づくりのワークショップを行った。これからもことばを子供たちと共に大切にしていきたい。



早いもので校長室の日めくりのカレンダーも折り返し。今年度もコロナ禍の1年でしたが、本校の教育活動に皆様御支援や御協力をいただき、令和4年を無事終えようとしています。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。どうぞよいお年をお迎えください。

<b>12月</b>		
12月	16日(金)	ユヌフトゥバの日
	23日(金)	終業式・大掃除
	27日(火)	ヨロンおきなわ音楽交流祭
<b>1月</b>		
1月	1日(日)	元日
	6日(金)	書き初め大会
	10日(火)	始業式・生徒指導強調週間・給食旬間

<b>1月</b>		
1月	13日(金)	学級PTA
	16日(月)	生産者との交流会・持久走前健康相談・清掃強調週間
	17日(火)	鹿児島定着度調査(～19日)
	20日(金)	中学校入学説明会
	25日(水)	校内持久走大会
	31日(火)	避難訓練(地震)